

MINATOビジョン・タウンフォーラム
街づくりグループ（第3グループ）

会議録（第2回）

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和7年9月1日（月）18時30分～20時30分

会 場：港区役所9階 915会議室

メンバ：11名（欠席者4名）

【内訳】対面参加10名、オンライン参加1名

事務局：企画課グループ担当3名、サポートメンバー2名、都市計画課長、委託事業者3名（うち
ファシリテーター1名、記録者1名、グラフィックレコーダー1名）

※区長が会議の様子を視察しました。

■次第

（開会）

1 事務局より連絡

・本日の会議について

2 検討テーマに関する議論

・2040年の港区のうれしい姿・避けたい姿

・2040年から2025年の港区民へのメッセージ

3 事務局より連絡

・第3回グループ会議の内容等

（閉会）

■配付資料

資料1 第2回グループ会議進行資料

資料2 第3回グループ会議に向けて

参考資料1 港区まちづくりマスターplanについて

■貸与資料

なし

■会議要旨

(開会)

リーダーより、第2回グループ会議開催に当たっての挨拶及び開会宣言が行われた。

1 事務局より連絡

事務局より、本日の会議の進め方等について説明が行われた。

2 検討テーマに関する議論

ファシリテーターより、資料1を基に、ワークショップの趣旨や進め方について説明が行われた。

メンバーは、ラウンドごとに意見を付箋に書き出して発表しながら、模造紙上で意見を分類してまとめた。

(1) 練習ラウンド① 過去15年の港区の変化

(主な意見等)

参加者：再開発が増えた。

参加者：高層ビルやマンションが増えた。

参加者：湾岸にタワーマンションが増え、倉庫が住宅に変わっている。

参加者：外国人がたくさん増えた。

参加者：駐車場が増えた。

参加者：ガソリンスタンドが減っている。

参加者：ちいばすなどの公共交通機関が整備され、交通が便利になった。

参加者：シェアサイクルなど、移動する際の選択肢が増えた。

参加者：ベンチャー企業が増えた。

参加者：虎ノ門が発展したが、子どもは減った。

参加者：港区全体では子どもは増加し、保育園が圧倒的に増えている。

参加者：女性の数が増えている。

参加者：新婚で港区に住む人が増えている。街の魅力が増えていると思う。

参加者：場所によって家賃が安く住める物件もある。

参加者：料理が美味しいお店が増えた。

参加者：街づくり好きや、コミュニティ好きの人が増えた。

参加者：再開発で街がざっくりした。小さい公園やスーパーが増えた感覚がある。

参加者：お台場や港南など海辺の整備が進んでいる。

参加者：海がきれいになるとと思ったがならなかつた。

参加者：六本木が寂れた。

参加者：お台場の商業施設が入れ替わった。

参加者：スカイツリーの建設により東京タワーの地位が下がった。

参加者：逆に東京タワーの魅力が高まっていると思う。

参加者：電柱が減った。

参加者：洒落たガードレールが増えた。

参加者：高輪ゲートウェイ駅ができ、飛行機が区内を低空飛行するようになった。

参加者：小学生向けの塾が増え、インターナショナルスクールが増えている。

参加者：国際化が進んでいる。

参加者：表参道にハイブランド店が増えている。

参加者：インターネットが早くなつた。

参加者：マンションの価格が高くなつた。

参加者：港区ブランドが良くも悪くも飾られるようになった。二極化も徐々に進みつつある。

参加者：緑を増加させる取組が進んでいる。高齢者が増加している。都内の公共交通機関が自動運転化している。気温上昇により避暑地やサービスなどの充実が図られている。

(2) 練習ラウンド② 15年前の港区民へのメッセージ

(主な意見等)

参加者：保育園や公園を住みやすい場所にあえて設置し、人を誘導すると良い。

参加者：マンションの建設とともにコミュニティを形成しておくと良い。水質改善にしっかり取り組むと良い。古い建物を残すべきものとそうでないものの基準を設けるべき。お寺の周りにマンションをつくれないなど景観条例をつくるべき。

参加者：避暑のために高木を増やして日影をつくると良い。

参加者：ビルの緑化を進めるべき。

参加者：地球温暖化対策をして、そもそも暑くならない環境に。

参加者：区民の英語教育をもっと進めると良い。

参加者：再開発と再開発の間の仕掛けを工夫して寂れないようにすると良い。

参加者：電動キックボードやカーシェアリングなどサービスを使いやすくするためにスマホを駆使すべき。

参加者：外国人が増えたので、日本人との料金設定を分けてほしい。

参加者：いろいろな施策をできるように区職員を増加しておくと良い。

参加者：区民がデジタルでサービスを利用すべき。

参加者：地球温暖化と首都直下地震の対策を講じると良い。

(3) 第1ラウンド 2040年の港区のうれしい姿・避けたい姿

(主な意見等)

参加者：リニア中央新幹線の完成により名古屋が生活圏内になって港区から通勤する人がいる。公園の一角など靴を脱いでリラックスできるスペースが増えていてほしい。たくさんの災害リスクがあるので一目で分かる避難所が増えているのはうれしい姿だと思う。一方で、学生と街のつながりが希薄になることは避けたい姿である。

参加者：コミュニティ活動が増えることや海水浴ができるることはうれしい姿だと思う。一方で、ベンチが無くなる、交通機関が進歩していない、水が汚いといったことは避けたい姿である。

参加者：ウォーターフロントがにぎやかになっている。

参加者：水辺が歩道や橋でずっとつながっていてほしい。

参加者：港区の運河は歩道のためでなく、護岸の保存のためにつくられているのでつながっていない。

参加者：住民が高齢者ばかりになっていることは避けたい。

参加者：民間事業者が設置するごみ箱が減少しており、ごみが街に散乱することは避けたい。また、日本全体が衰退した際に病院等の生活基盤が整っている港区に人が集まることが予想され、

受け皿が必要になる。

参加者：人同士のいがみ合いが増えることは避けたい。

参加者：自動運転が実現し、高齢者や子連れの人たちが行き来できるようになると生活が楽になる。

技術だけが先行するのではなく、区民のリテラシーも向上させて使いこなせる人たちが集まる街が実現すると、真の意味で効率化すると思う。

参加者：極限まで簡素にオンラインで完結する各種手続きが進んでほしい。

参加者：景観が統一されている中で特徴があると良い。汐留イタリア街は急に景観が変わって思い付きのよう感じてしまうため、全体で考えた方が良い。

参加者：汐留は汐留で悪くないと思う。コンセプトを持つことが大事。高層ビルがただ立っている街は避けたい。

参加者：地下道が増えて涼しさを感じられるようになっている。街路樹が高木となり日影が増えていく。

参加者：最先端の高層ビルにも緑化が推進されている。一方で、無機質なビル街や空きテナントの増加、公衆トイレが汚い、排気ガスやごみが増えている、お店で英語が通じない、テクノロジーが発展していない、キャッシュレス化が進んでいない姿は避けたい。

参加者：日本語を残したい。2035年には日本語が無くなるという話もある。

参加者：土地価格の高騰で日本人が日本の土地を購入できないことは避けたい。

参加者：個性のないチェーン店ばかりの街はつまらない。ちいばすは無料にしてほしい。エネルギー革命でエネルギーが全て無料になっている。

参加者：保育士のなり手が少なく保育園がなくなり、港区に住めなくならないようにしてほしい。

参加者：町会と企業が連携し町会の在り方が変わってほしい。区の職員が増えている。区の職員と民間事業者が連携してコミュニティづくりなどに取り組んでほしい。

参加者：多様な人が集まり、気軽に交流できる場が整い、犯罪のない街がうれしい。一方で、役所での手続きに時間がかかるような街は避けたい。

参加者：高層の商業ビルが増え、人口が増加しているうれしい。一方で、街の発展に伴い、二酸化炭素の排出量が増えるのは避けたい。

参加者：港区は他区に比べても地下道が少ない。

(4) 第2ラウンド 2040年から2025年の港区民へのメッセージ

(主な意見等)

参加者：過度な移民政策をやめて、日本が日本であるような街にしてほしい。日本の歴史に興味持てる教育をしてほしい。特に日本の建築物を残せるような評価制度をつくってほしい。税制を活用するなど全体的な緑を保全する雰囲気をつくってほしい。

参加者：緑化目標を定めてほしい。

参加者：税収の使い道の中で清掃費を増やしてほしい。

参加者：港区の水辺を守るために開発できる土地を新たに構築してほしい。高齢者や障害者が生活しやすい街づくりをしてほしい。AIを活用すれば言語に関係なくシームレスなコミュニケーションができるようになると良い。転入者を受け入れることができる住宅が必要。

参加者：町会等の既得権益化を防止したい。事業者を適材適所に配置して連携してほしい。区外の人々が施策に参加できるようにしたり、事業者に選挙権を持たせるなど参画できるように。

参加者：学生を飲食店に取り込む施策を実施してほしい。学生はご飯を食べる場所が少ない。

参加者：ウォーターフロントの開発を今から計画してほしい。芝・赤坂・麻布の区分けを廃止して、海沿いや緑の多い地域、ビジネス街など、現代に合う区分けを検討してほしい。図面だけではなく、どういう姿や景観になるのか都市計画をビジュアル化して関心を高めてほしい。

参加者：自然を定量的に増やすと、数値は達成したが、全体的な統一がない植樹になってしまうため、定性的にどういうところに森があるなど、港区の人が想起できるような街づくりをできると良い。シンガポールはデザインされた街で、どこに行けば何があるかイメージできる。日本はごちゃごちゃした猥雑な街なので、港区がリードしていくことはテーマとして掲げてもよいと思う。

参加者：地下道を活用し、洗練された息苦しくない空間にしていってほしい。

参加者：全体のコンセプトを整理して、外から見たときに美しいなと思えるような街づくりをしてほしい。

参加者：前回も話にあったが、東京をリードするニューヨークやマンハッタンみたいな港区になってほしい。2040年代は今以上に温暖化していることを意識して緑化を推進してほしい。国際化が進み、AIで解決できるかもしれないが、外国人が増えて価値観も多様化するので、防災など文字ではない誰でも分かるサイン表示が大事。自動運転などスマートシティを目指してほしい。

参加者：港区から日本を世界に広めるというコンセプトを持っておきたい。トイレをきれいにしたい。街づくりに参加したいという声をあげてほしい。水質を改善したい。コミュニティ活動に参加してほしい。

参加者：テクノロジーが進歩していくので、区民自身がスキルアップ、リテラシーの向上を図ってほしい。言語のレベルアップも一人ひとりが意識していかなければならない。

参加者：人口の増加に伴う犯罪防止のための制度や取組を進めてほしい。

参加者：徹底した利便性追求による本質的な時間の割き方を意識していきたい。

参加者：様々な人との交流を通じて新たな価値観をつくっていきたい。

参加者：高齢化社会となるので、バリアフリーを実現したい。

3 事務局より連絡

事務局より、資料2を基に、第3回グループ会議の内容等について説明が行われ、次回会議及び報告会の日程が確認された。

(閉会)

リーダーが閉会を告げ、終了。

以上